

2020年度 幕張海浜キッズ 事業報告

1. 園の概要

(1)基本情報

- ①園の名称：放課後児童クラブ 幕張海浜キッズ
 ②住 所：千葉市美浜区幕張西2-7-2 幕張海浜こども園内
 電話番号：043-273-2266
 FAX番号：043-273-2267
 ホームページアドレス：<https://www.ainosono.or.jp/makuhari/kids/>

(2)在籍園児の状況（月別・クラス別） 2020年度 在籍園児数年間人数集計表

*（ ）は要配慮児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合
4月	9	3	7 (2)	10	1	-	30	75%
5月	9	3	7 (2)	10	1	-	30	75%
6月	9	3	7 (2)	10	1	-	30	75%
7月	9	3	7 (2)	10	1	-	30	75%
8月	9	3	7 (2)	10	1	-	30	75%
9月	9	3	6 (1)	10	1	-	29	73%
10月	9	3	6 (1)	10	1	-	29	73%
11月	9	3	5 (0)	10	1	-	28	70%
12月	8	3	5 (0)	10	1	-	27	68%
1月	7	3	5 (0)	10	1	-	27	68%
2月	7	3	5 (0)	10	1	-	27	68%
3月	7	3	5 (0)	10	1	-	27	68%
合計	101	36	72	120	12	-	341	72%

(3)定員充足率（毎年度3月末現在）

年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
定員	40	40	20	20	—
充足率	72%	64%	100%	70%	—

(4)職員の概要

○常勤職員

所長	1名＊幕張海浜こども園園長兼務
主任児童指導員	1名＊幕張海浜こども園保育教諭兼務
事務員	1名＊幕張海浜こども園事務兼務

○非常勤職員（平均勤続年数：約2年3ヶ月）

児童指導員	5名
補助児童指導員	0名

○嘱託医（幕張海浜こども園兼務）

学校内科医・学校歯科医・学校薬剤師 各1名

2. 事業の概要

「職員の研修と育成に関する方針」

幕張海浜は、児童指導員全員が非常勤職員となり、5名中4名が扶養内勤務を希望しており、1人あたり週3日程度の勤務となっていることから、保育連携の安定に課題を残しています。この課題を解決する為、週5日勤務者（常勤的非常勤）1名の採用を行いたいと考えてきましたが、収入面の不安から採用を見送ってきました。しかし、児童定員充足率が7割を超え、収支が安定してきたことから、具体的な採用に向けて準備を進め、保育の質の向上に努めます。

また、全職員とも教員免許を取得しておりますが、学童指導員や教員としての経験が浅いため、豊かな指導性や質の高い保育の提供が課題であることから、オンライン外部研修への参加や保育実技の内部研修の充実を図りました。引き続き、2021年度も研修計画を進めて参ります。

(2)中期的な計画（保育・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

2019年度の園児定員数変更（定員40名に増員）からの4ヶ年計画により、2020年度は児童の受入れを最大30名まで増員することができました。入学年も5年生までになり、運営も安定に向き始めたと考えます。受入児童数は、2021年度35名、2022年度40名と計画通り進む見込みです。

収入については、開所当初より一定額の繰越（定期預金積立）ができておりますが、2020年度の受入児童数の増加によりさらに計画を立てられるようになりました。2022年度には、児童定員を満たす計画となるため、今後はさらに積立の増額が可能となる見込みです。

3. 財務の概要

(1)決算の概要

①貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
流動資産	544,314	6,362,659	1,184,083	174,000	
固定資産	10,288,845	5,682,423	2,582,126	0	
資産の部合計	10,833,159	12,046,082	3,766,209	174,000	
流動負債	897,154	6,490,426	1,311,850	301,767	
固定負債	0	0	0	0	
負債の部合計	897,154	6,490,426	1,311,850	301,767	
基本金	0	0	0	0	
国庫補助金等特別積立金	756,453	0	0	0	

その他の積立金	9,279,577	5,558,968	2,582,126	0	
次期繰越活動増減差額	△100025	△ 3,312	△ 127,767	△ 127,767	
純資産の部合計	9,936,005	5,555,656	2,454,359	△ 127,767	
負債及び純資産の部合計	10,833,159	12,046,082	3,766,209	174,000	

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

勘定科目			2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
事業活動による収支	収入	保育事業収入	10,889,760	10,748,000	9,850,200	1,858,400	
		借入金利息補助金収入	0	0	0	0	
		経常経費寄付金収益	0	0	0	0	
		受取利息配当金収入	303	26	21	0	
		その他の収入	0	0	3,556	0	
		事業活動収入計	10,890,063	10,748,026	9,853,777	1,858,400	
	支出	人件費支出	5,764,262	5,598,629	5,572,845	1,486,195	
		事業費支出	1,022,285	941,010	1,430,449	441,892	
		事務費支出	416,901	642,498	268,357	58,080	
		支払利息支出	0	0	0	0	
		その他の支出	196,079	453,254	0	0	
		事業活動支出計	7,399,527	7,635,391	7,271,651	1,986,167	
	事業活動資金収支差額		3,490,536	312,635	2,582,126	△ 127,767	

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

勘定科目			2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	996,000	0	0	0	
		施設整備等収入計	996,000	0	0	0	
	支出	設備資金借入金元金償還金支出	0	0	0	0	
		固定資産取得支出	991,000	135,793	0	0	
		施設整備等支出計	991,000	135,793	0	0	
	施設整備等資金収支差額		5,000	△ 135,793	0	0	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	0	0	0	
		拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0	
		その他の活動収入計	0	0	0	0	
	支出	積立資産支出	3,720,609	2,976,842	2,582,126	0	
		拠点区分間繰入金支出	0	0	0	0	
		その他の活動支出計	3,720,609	2,976,842	2,582,126	0	
	その他の活動資金収支差額		△ 3,720,609	△ 2,976,842	△ 2,582,126	0	
当期資金収支差額合計		△225,073	0	0	△ 127,767		
前期末支払資金残高		△127,767	△ 127,767	△ 127,676	0		
当期末支払資金残高		△352,840	△ 127,767	△ 127,767	△ 127,767		

③事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

勘定科目			2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益	10,889,760	10,748,000	9,850,200	1,858,400	
		経常経費寄附金収益	0	0	0	0	
		その他の収益	0	0	3,556	0	
		サービス活動収益計	10,889,760	10,748,000	9,853,756	1,858,400	
	費用	人件費	5,764,262	5,598,629	5,572,845	1,486,195	
		事業費	1,022,285	941,010	1,430,449	441,892	
		事務費	416,901	642,498	268,357	58,080	
		減価償却費	106,187	11,338	0	0	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△239,547	0	0	0	
サービス活動費用計	7,070,088	7,193,475	7,271,651	1,986,167			
サービス活動増減差額		3,819,672	3,554,525	2,582,105	△ 127,767		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0	0	
		受取利息配当金収益	303	26	21	0	
		その他のサービス活動外収益	0	0	0	0	
		サービス活動外収益計	0	26	21	0	
	費用	支払利息	0	0	0	0	
		その他のサービス活動外費用	196,079	453,254	0	0	
		サービス活動外費用計	196,079	453,254	0	0	
	サービス活動外増減差額		△195,776	△ 453,228	21	0	
経常増減差額		3,623,896	3,101,297	2,582,126	△ 127,767		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	996,000	0	0	0	
		施設整備等寄附金収益	0	0	0	0	
		長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0	0	
		固定資産受贈額	0	0	0	0	
		固定資産売却益	0	0	0	0	
		拠点区分間繰入金収益	0	0	0	0	
		拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0	0	
		その他の特別収益	0	0	0	0	
		特別収益計	996,000	0	0	0	
	費用	基本金組入額	0	0	0	0	
		資産評価損	0	0	0	0	
		固定資産売却損・処分損	0	0	0	0	
		国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	0	0	0	0	

	国庫補助金等特別積立金積立額	996,000	0	0	0	
	災害損失	0	0	0	0	
	拠点区分間繰入金費用	0	0	0	0	
	拠点区分間固定資産移管費用	0	0	0	0	
	その他の特別損失	0	0	0	0	
	特別費用計	996,000	0	0	0	
	特別増減差額	0	0	0	0	
当期活動増減差額		3,623,896	3,101,297	2,582,126	△ 127,767	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	△ 3,312	△ 127,767	△ 127,767	0	
	当期末繰越活動増減差額	3,620,584	2,973,530	2,454,359	△ 127,767	
	基本金取崩額	0	0	0	0	
	その他の積立金取崩額	0	0	0	0	
	その他の積立金積立額	3,720,609	2,976,842	2,582,126	0	
	次期繰越活動増減差額	△ 100,025	△ 3,312	△ 127,767	△ 127,767	

④財務比率の経年比較

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
経常増減差額率	33.3%	28.9%	26.2%	-6.9%	
流動比率	60.7%	98.0%	90.3%	57.7%	
純資産比率	91.7%	46.1%	65.2%	-73.4%	
固定長期適合率	103.6%	102.3%	105.2%	0.0%	
借入金償還余裕率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
事業活動資産収支差額	32.1%	2.9%	26.2%	-6.9%	
人件費比率	52.9%	52.1%	56.6%	80.0%	
事業費比率	9.4%	8.8%	14.5%	23.8%	
事務費比率	3.8%	6.0%	2.7%	3.1%	

(2)その他

①借入金の状況

借入金なし

(3)経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対策方策

①収益性

安定的・継続的な収益性の指標となる経常増減差額率は、開設年度はマイナスであったが、これは所管行政の急な依頼により、年度途中に開設したことに起因し、その後はプラスに転じているため収益性は確保されている。

②短期安定性

流動比率は短期的な支払い能力を見る上で、値が一般的には200%以上であることが望ましいとされているが、100%を下回っている。これは流動資産額より流動負債額が上回っている状態であり、短期支払い義務に対する支払い能力が不足しており、短期安定性を欠いている状態と言えるが、現時点では大きな不安要素であるとは言えない。

③長期持続性

長期安全性を見る純資産比率は、約92%と前年度より約45%増加し、高く長期安全性は確保されている。資金繰り事業活動による資金収入と資金支出のバランスを見る事業活動資金収支差額率においては、プラスであることが望ましく、開設年度以降はプラスであり資金を獲得できる能力があると言える。

④合理性

人件費比率、事業費比率、事務費比率ともに開設年度以降安定し、適切な数値である。

2020年度は前年度より6名多い30名でスタートし、年度途中で4名の退所があったものの、積立額は前年度より約750,000円増額した。

2022年度には、計画通りの定員40名の入所を見込む事ができ、年間4,000,000円程度の積立額が見込めることから、次年度は定員の充足に努め維持していきたい。補助金の仕組みは「運営費補助金」でありながらも実態は委託事業と同様の補助体制となっており、現時点での一定額以上の積立は見込める状況ではない為、補助金体制の見直しについては引き続き所管課へ要請を続けていきたい。